

# コミュニティわくわく入田

わ  
湧くわくが つながる地域 笑顔あふれる入田



中島公園河川プール

## 地域計画書

2025年10月

# コミュニティわくわく入田 会長 挨拶



竹田市の人口は1万8千人となっており、人口減少・少子高齢化が進む中、高齢化率が50%以上の高齢化集落は、自治会全体の半数以上を占めている状況です。また入田地区においても、この20年間で200人以上の人口が減少しています。人と人との交流や生活環境などの変化により昔のような繋がりが希薄しているように感じています。そのため、入田地区においてもより一層の地域の在り方を見直し、現代にあった方法を見出していく必要があります。

このような中、検討委員会・設立準備委員会を設立し、1年半かけて今後の入田地区の在り方を見直し、どう発展させていくか議論してきました。新たな組織では横のつながりを強化し、地域全体のことを考える組織となっています。

これからは入田地区の住民が主体となって「湧くわくが つながる地域 笑顔あふれる入田」をスローガンに地域づくりができる組織を目指したいと思いますので、ご協力のほどよろしくお願いたします。

コミュニティわくわく入田

会長 三宮 光憲

# 目次

1. 地域運営組織とは？ .....	1
2. 竹田市取組 .....	1
3. なぜ入田地区で取り組むのか？	2
4. 地域計画書とは？ .....	8
5. 新組織について .....	9
6. 年間スケジュールの検討 .....	20
7. 新組織設立までの経過 .....	30
8. 入田地区の概要 .....	34
9. アンケート結果 .....	35



# 1. 地域運営組織とは？

---

地域運営組織とは、小学校区等を1つの区域とした総合的な地域組織で、構成員は**自治会員**です。地域運営組織では「みんなで」「いろいろなことを」「話し合いを踏まえて」解決していきます。

# 2. 竹田市の取組

---

2018年3月に市の「地域コミュニティ組織のあり方検討会議」の報告書が出されました。それを受け、入田地区では2024年2月に「入田地区地域コミュニティの在り方検討」について話し合いが行われ、同年の4月に『入田地区地域コミュニティ在り方検討委員会』を発足しました。検討委員会では毎月1回会議を実施し、丁寧に検討を進めてきました。

2024年11月アンケート調査の結果、**地域の課題解決や住民の地域参画に取り組む新組織の設立に過半数以上の賛同を得ました。**

### 3. なぜ入田地区で取り組むのか？

---

#### (1) 入田地区の現状

入田地区の組織の現状と課題について、以下の内容が挙げられます。

- ① 自治会など地域運営の担い手がいないため新しい人材が確保できず、高齢化が進んでいる
- ② 数年見直されていない事業があるため、役割を終えた事業や、改善しなければならない事業が点在している
- ③ 事業の見直しがされておらず、役職の負担が大きい

## (2) 入田地区の組織再編

2024年4月には『入田地区地域コミュニティ在り方検討委員会』（以下、検討委員会という。）を発足し、**入田地区の課題の把握、地区住民一体となる新組織の設立の必要性**について検討しました。

## (3) 新組織設立に向けて

検討委員会では、2025年3月までに計12回の会議を実施しました。また、住民アンケートや視察研修、地区社協と合同での「よっちはなそう会」も行いました。

2025年4月には『入田地区地域コミュニティ設立準備委員会』（以下、準備委員会という。）を発足し、新組織の活動計画の検討、入田地区準備委員会だよりでの**広報活動**を行いました。

そのほか準備委員会では、新組織の名称やキャッチコピー、今後の新しい活動について検討しました。

## (4) 新組織に求められる役割と目指すもの

検討委員会や準備委員会で検討を重ねた結果、新組織に求められる役割として、以下の3つを確認しました。

- ① 既存組織や活動の見直し、再編
- ② 高齢者や若者、女性など多世代で交流ができる機会の創出
- ③ 河川プールの位置づけ

さらに、準備委員会では、入田地区全体および新組織が目指すものについて、たくさんの意見があげられました。新組織では次のことを目標に活動していきます。



河川プール

---

<sup>1</sup>この地域計画書の挿絵は、祖峰小学校の4～6年生のみなさんに制作していただきました。

## 入田地区が目指すもの

---

- 健康で安心、住民が孤立しない入田
- 全世代の交流機会のある入田
- 楽しく暮らせる安全・安心な入田
- 住みたくなる住み続けたくなる入田

## 新組織が目指すもの

---

- 世代をこえて、誰もが顔見知りになれる場づくり
- 誰でも気軽に参加できる楽しい地域活動
- 地域に根ざし、日常的に人が集える仕組みづくり
- 省力化・効率化を図った持続可能な組織運営

また準備委員会では、組織の再編を検討するうえで、以下の2つのことを大切にして検討してきました。

① 組織の役員の負担を減らし、  
自治会の運営を続けていくための  
仕組みを考える

2024年度に実施した住民アンケートでは、「自治会など地域運営の担い手がいない」「地域の共同作業や役職に負担を感じている」というご意見がありました。

新組織では役員の負担を減らすために、新たな組織体制を考えました。

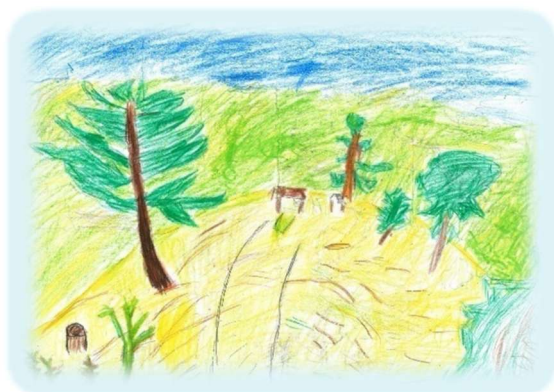


河宇田湧水

② 活動・組織運営を見直し、  
入田地区の住民全員が対象となる  
事業・仕組みを考える

2024年度に実施した住民アンケートでは、「活動・組織運営を定期的に検証し、不要なものは縮小、廃止しやすくする」というご意見がありました。

新組織では、若い方を含む入田地区に住む住民全員が楽しく関わることができる仕組みを考えていきます。



牧ノ城

## 4. 地域計画書とは？

地域計画書とは、準備委員会で検討した内容、住民アンケートやよっちはなそう会でのご意見をもとに作成した、入田のこれからの地域づくりのための指針です。

本計画書の期間は、2025年度から2029年度までの**5年間**としています。



六地藏塔



明正井路



政所の観音堂



河宇田湧水

## 5. 新組織について

---

### (1) 新組織について

#### 新組織の名称

---

コミュニティわくわく入田

#### 事務所

---

竹田市入田分館

住 所：〒878-0034

大分県竹田市門田250-7

電 話 番 号：0974-62-2955

メールアドレス：nyu-2955@oct-net.ne.jp

#### 新組織のスローガン

---

<sup>わ</sup>  
湧くわくが つながる地域 笑顔あふれる入田

#### 新組織の任期について

---

四役の任期は2年とします。

## 新組織の会員（構成員）

---

新組織の構成員は以下の通りです。

- ① 入田地区の自治会員
- ② 地区外住民であっても、会に携わる関係者で会が認めた者を含む。

## 事務局について

---

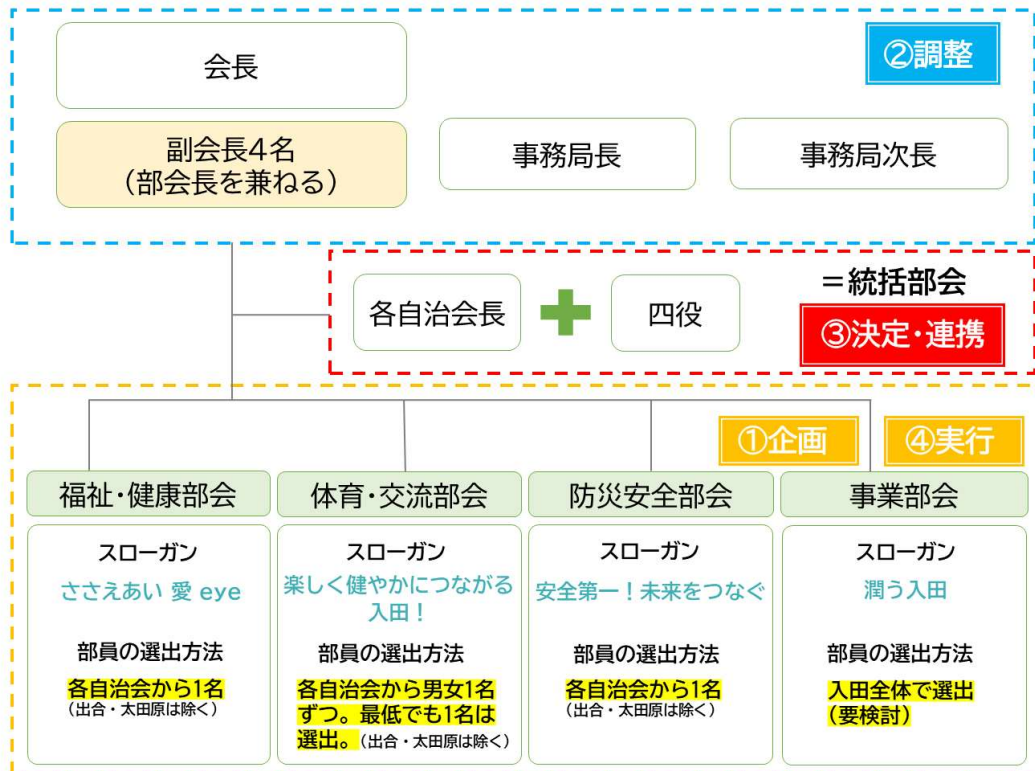
事務局長及び事務局次長で構成する事務局を置きます。なお、入田分館の分館長は副会長または事務局次長を兼任します。



河川プール公園

## (2) 新組織の組織図

新組織の体制は以下の通りです。



明正井路

## (3) 組織図の解説

### 総会

---

総会は、**最高決議機関**とし、事業計画、事業報告、収支予算及び決算に関する事項、地域計画の策定及び見直し、役員を選任、規約の変更や役員の委任に関する事項など、**重要事項の決定**を行います。

### 会長

---

入田地区全体から選出します。

### 副会長

---

部会長が副会長を兼任します。

### 事務局長・事務局次長

---

入田地区全体から選出し、組織全体の庶務を行います。四役会議・統括部会の事務局となり、また4部会の事務局を担当します。

## 四役会議

---

会長・副会長・事務局長・事務局次長（以下、四役という。）で行う会議のことです。総会決定事項である年間計画や地域計画を推進する上で、**全体調整**をし、**部会との連携**を行います。また、見直し事業があれば適宜、案件に対しての協議を行います。組織運営や、組織の見直しを検証する担当機関とします。

## 統括部会

---

主に、新規事業・見直し事業の承認や各種議題の承認を担います。詳細については統括部会 21 ページに記載しています。



政所の観音堂



牧ノ城

## 部会

---

部会事業の企画・実行を行います。**分野横断的な事業を行う**時もあります。部会長は、全体副会長と兼任となります。事務局は全体の事務局長及び事務局次長が担います。

新規事業・見直し事業については、**部会と四役会議でしっかり連携・調整**を図っていきます。中心となる部会は統括部会、福祉・健康部会、体育・交流部会、防災安全部会、事業部会の5つです。詳細については 15 ページ以降に記載しています。

## 関係団体

---

民生委員や消防団、行政機関等、適宜必要に応じて四役会議・部会等に参加の協力をお願いしていきます。



泉水湧水

## (4) 各部会の活動方針

### 統括部会

---

#### 統括部会のスローガン

### 持続可能な入田の地域づくり

#### <スローガンに込めた思い>

多世代交流を進め、入田の地域資源を活用していくことにより、入田の活性化と入田らしい地域づくりを行います。

統括部会では、以下のことを目指して活動を進めていきます。

- 各部会の横のつながりをサポートする

## 福祉・健康部会

---

福祉・健康部会のスローガン

ささえあい 愛 eye

<スローガンに込めた思い>

ささえあい、出会い、めくばりのある活動を進めていくという意味を込めました。

福祉・健康部会では、以下のことを目指して活動を進めていきます。

- 交流と健康の啓発
- 自治会に何か一つ通いの場を！

「交流と健康の啓発」活動として、年に1回集まり、体力測定大会を開催します。また、特定検診等各種検診の受診勧奨に取り組みます。

## 体育・交流部会

---

体育・交流部会のスローガン

**楽しく健やかにつながる入田！**

<スローガンに込めた思い>

楽しく健やかにつながり、入田を一つにする活動を目指すという意味を込めました。

体育・交流部会では、以下のことを目指して活動を進めていきます。

- 笑顔が見える活動のサポート



明正井路

## 防災安全部会

---

### 防災安全部会のスローガン

**安全第一！未来をつなぐ**

#### <スローガンに込めた思い>

安全な暮らしを守ることによって入田の未来を次の世代へとつないでいくという意味を込めました。

防災安全部会では、以下のことを目指して活動を進めていきます。

- 住民ひとりひとりの安全を守る

## 事業部会

---

### 事業部会のスローガン

# 潤う入田

#### <スローガンに込めた思い>

地域活動の資金を確保することで、地域・生活が潤うという意味を込めました。

事業部会では、以下のことを目指して活動を進めていきます。

- 地域資源の活用、保全・情報発信



河川プール公園

## 6. 年間スケジュールの検討

準備委員会では、各部会の年間スケジュールについて検討を行いました。各部会では、まず「自分たちの部会が主体的に取り組める活動」や「他の部会と協力すれば取り組める範囲」から検討を行っています。

詳細な内容や新規の活動、既存の活動の見直しについては、各部会で引き続き検討をしていきます。



牧ノ城



河宇田湧水



六地藏塔

## (1) 統括部会

### 活動について

統括部会が主として実施する活動はありませんが、統括部会として入田地区全体のスケジュールを把握・管理します。

統括部会の中で役割分担をし、各部会、活動に参加します。



河川プール公園



六地藏塔

## (2) 福祉・健康部会

### スケジュール

青色：会議、オレンジ色：活動

4月	5月	6月
第1回部会会議	第2回部会会議	よっちはなそう会
	会長事務局長会議	
	地区巡回健診	
7月	8月	9月
第3回部会会議	支え合い感謝サービス	
10月	11月	12月
第4回部会会議	支え合い感謝サービス	
会長事務局長会議	ふれあい交流会・敬老会	
1月	2月	3月
	第5回部会会議	名水ふれあい弁当の配布

※上記は計画段階のため、変更する可能性があります。

※詳細については、部会運営の中で決めていきます。

## 新規活動について

### ① ふれあい交流会

目的
幅広い世代の交流（全世代） まずは参加してもらい、交流を！
活動内容
・顔見知りを作る    ・情報交換    ・参加証を作る

### ② 通いの場づくり

目的
自治会に1つの通いの場を作り、集うことで、 見守り、声かけ、交流につながる
活動内容
・KSK（健康長寿週一活動）の拡充、サロンや趣味の集いを たくさん作る ・年に1回は通いの場を合同して全体会を実施



政所の観音堂

## (3) 体育・交流部会

### スケジュール

青色：会議、オレンジ色：活動

4月	5月	6月
	第1回部会会議	市民球技大会
		練習サポート
7月	8月	9月
	第2回部会会議	入田地区民球技大会
		練習サポート
10月	11月	12月
第3回部会会議	竹田市駅伝大会	
	練習サポート	
1月	2月	3月
	第4回部会会議	名水マラソン
	ウォーキング大会	

※上記は計画段階のため、変更する可能性があります。

※詳細については、部会運営の中で決めていきます。

## 新規活動について

### ① 地区民球技大会

目的
全世代の参加を目指す
活動内容
・ビンゴ大会等を取り入れる等の工夫 ・グラウンドゴルフに子どもの参加を呼びかける等

### ② 地区民カラオケ大会+もちつき大会

目的
スポーツ以外の世代交流
活動内容
福祉部会との交流を検討（敬老会等）



明正井路

## (4) 防災安全部会

### スケジュール

青色：会議、オレンジ色：活動

4月	5月	6月
	第1回部会会議	
	街頭指導(1回)	
7月	8月	9月
街頭指導(1回)		街頭指導(1回)
夏の事故ゼロ活動		秋の交通安全運動
10月	11月	12月
第2回部会会議	かかし作り(社会福祉協議会と連携)	街頭指導(1回)
	ハザードマップ点検	冬の事故ゼロ運動
	消防団と連携(火災予防週間)	小学校と合同で消火訓練
1月	2月	3月
第3回部会会議	防災安全講和 ※体育交流部会と連携 (予定)	消防団と連携 (春の火災予防運動)

※上記は計画段階のため、変更する可能性があります。

※ハザードマップ点検…年ごとに点検内容を企画する

※防災・安全講話…体育・交流部会と連携し、入田地区ウォーキングと合わせて企画する

※詳細については、部会運営の中で決めていきます。

## 新規活動について

### ① （小学校と一緒に）防災訓練

目的
交通安全だけでなく防火、防災の意識を高める
活動内容
・ 高齢者を中心に、小学校と合わせて平日に実施 ・ 避難訓練、消火訓練⇒非常持出袋の準備、試食など

### ② ハザードマップ入田版の作成

目的
読み手ひとりひとりがわかりやすいように作成する
活動内容
5年かけて冊子を参考に少しずつ作りあげる



河宇田湧水

## (5) 事業部会

### スケジュール

青色：会議、オレンジ色：活動

4月	5月	6月
空き家情報の 収集	通年で活動します	
	中島公園清掃活動 (5月上旬)	河川プール開き会議
	第1回部会会議 (5月末)	
7月	8月	9月
中島公園清掃活動	夕暮れコンサート	ウォーキングコース 確保(9月下旬)
河川プール開き		第2回部会会議(9月 上旬)
空き家情報の 収集		
10月	11月	12月
空き家情報の 収集		
1月	2月	3月
	植林箇所草刈り(随時)	第3回部会会議
	ガイド活用(ウォーキ ング大会と連携)	
空き家情報の 収集		

※上記は計画段階のため、変更する可能性があります。

※詳細については、部会運営の中で決めていきます。

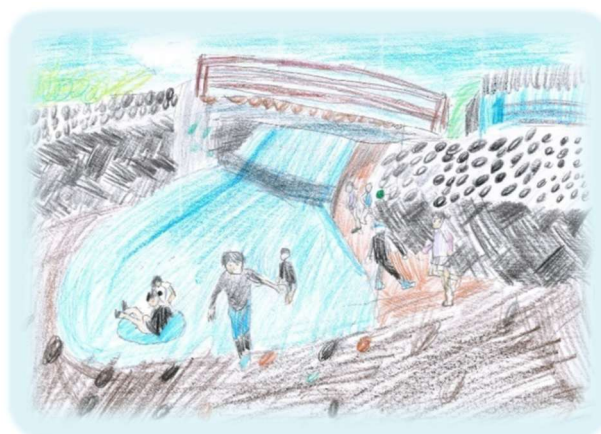
## 新規活動について

### ① 空き家情報収集、農地等の紹介

目的
移住者の確保
活動内容
空き家の情報収集、農地等の紹介

### ② 遊歩道の環境整備

目的
ウォーキングコースの確保
活動内容
・草刈り ・ガイド育成・確保 ・整備（体験）



河川プール公園

## 7. 新組織設立までの経過

### (1) 竹田市の経過

日付	内容
2018年12月	「地域コミュニティ組織のあり方検討会議」の検討および報告書の作成
2020年12月	「地域コミュニティモデル地区形成ビジョン」の策定
2025年 6月	「地域コミュニティ形成ビジョン」を策定

### (2) 入田地区の経過

日付	内容
2023年5月	入田地区自治会長会へ「竹田市地域コミュニティの取組」について説明
2023年6月	入田地区高齢者ふれあい交流会へ「地域コミュニティの取組」について説明
2024年2月	入田地区自治会長会へ「地域運営組織にむけての竹田市の方針」について説明
2024年2月	入田地区若者が集う交流会へ「地域コミュニティの取組」について説明
2024年4月	入田地区「地域コミュニティ」検討委員会の発足（入田地区自治会長会の経過説明 5回）
2025年4月	入田地区「地域コミュニティ」設立準備委員会の発足（入田地区自治会長会の経過説明 3回）

### (3) 検討委員会の経過

以下、検討委員会の経過となります。

- 検討委員会（毎月1回）・・・計12回
- 世話人会・・・計7回

2025年の1月に地区社協と合同で「よっちはなそう会」を開催いたしました。

### (4) 準備委員会の経過

以下、準備委員会の経過となります。

- 準備委員会（毎月1回）・・・計6回
- 役員会（毎月1回）・・・計6回



牧ノ城

## (5) 検討委員会メンバー

氏名	所属	検討委員会 役職
梶原 孝一	前自治会長	委員長
伊藤 信一郎	体協事務局長	副委員長、体協担当、 活性化協議会担当
大島 和伸	交通安全副会長	交通安全担当
児玉 靖士	社協事務局長	社協担当
木崎 俊造	前自治会長会長	世話人
野仲 勇次	入田分館長	副世話人
工藤 将太	現自治会長・調整職員	委員
友永 英治	現副自治会長	委員
佐藤 雅光	現自治会長	委員
阿南 すみ子	体協副会長	委員
広瀬 ルミ子		委員
神路祇 睦美	元体協事務局長	委員
内藤 一浩		委員
羽田野 弘樹	元自治会長	委員
本郷 敦子	市議	委員
三宮 光憲	社協顧問	委員
白井 幸光	民生委員、活性化協議会会長	委員

## (6) 準備委員会メンバー

氏名	所属	準備委員会 役職
梶原 孝一	前自治会長	準備委員長
伊藤 信一郎	体協事務局長	副委員長
野仲 勇次	入田分館長	委員
羽田野 弘樹	元自治会長	委員
神路祇 睦美	元体協事務局長	委員
木崎 俊造	前自治会長会長	委員
三宮 光憲	社協顧問、R 7自治会長会長	顧問
児玉 靖士	社協事務局長	委員
広瀬 ルミ子		委員
本郷 敦子	市議、R 7社協会長	顧問
内藤 公博	R 7愛育保健会長	委員
阿南 すみ子	体協副会長	委員
内藤 一浩		委員
中園 稔信	R 7体協会長	委員
大島 和伸	交通安全副会長	委員
工藤 将太	現自治会長・調整職員	委員
吉良 俊秀	R 7交通分会長	委員
友永 英治	現副自治会長	委員
佐藤 雅光	現自治会長	委員
白井 幸光	民生委員、活性化協議会会長、R 7活性化協会会長	顧問

## 8. 入田地区の概要

### (1) 年齢別人口データ

(2025/3/31時点)

年齢(歳)	男性(人)	女性(人)	計(人)
0~14	18	13	31
15~64	84	75	159
65~74	45	45	90
75以上	89	127	216
合計	236	260	496

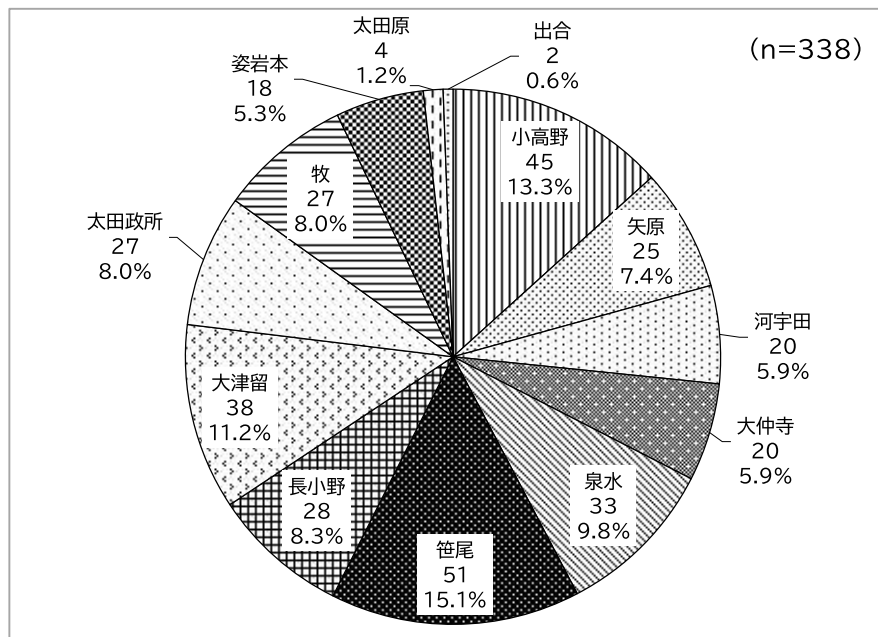
- ①人口・・・496人
- ②高齢者(65歳以上)・・・306人
- ③高齢化率(65歳以上)・・・61.7%
- ④後期高齢者(75歳以上)・・・216人
- ⑤後期高齢化率(75歳以上)・・・43.5%



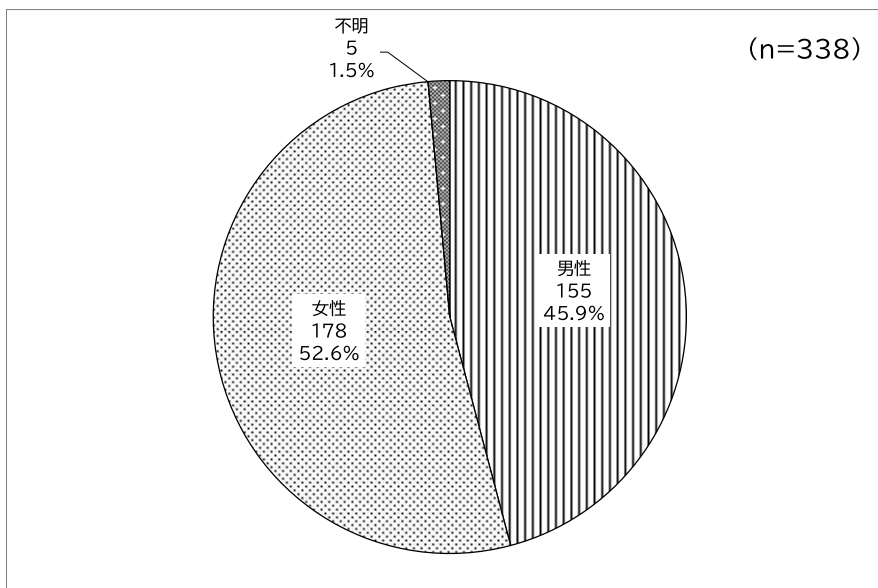
明正井路

# 9. アンケート結果

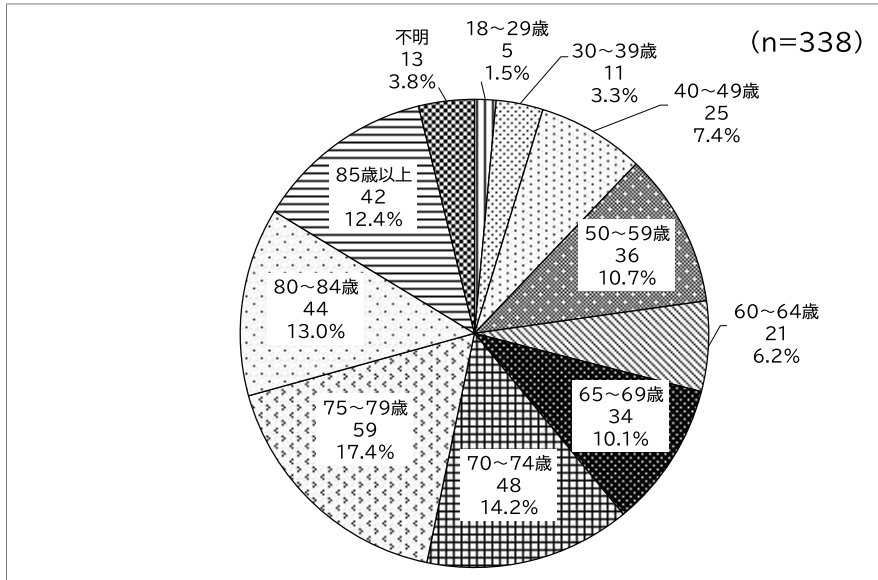
## Q1 住んでいる自治会名



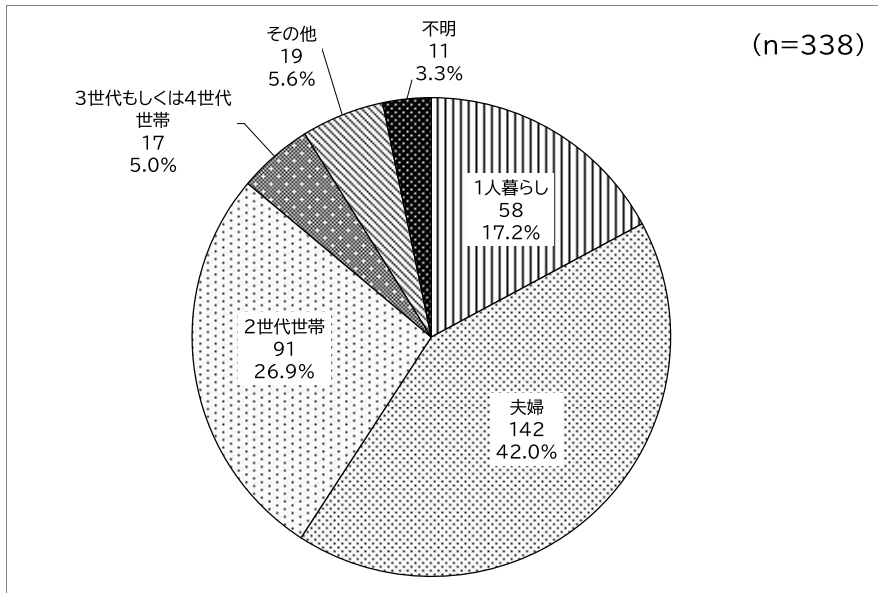
## Q2 性別



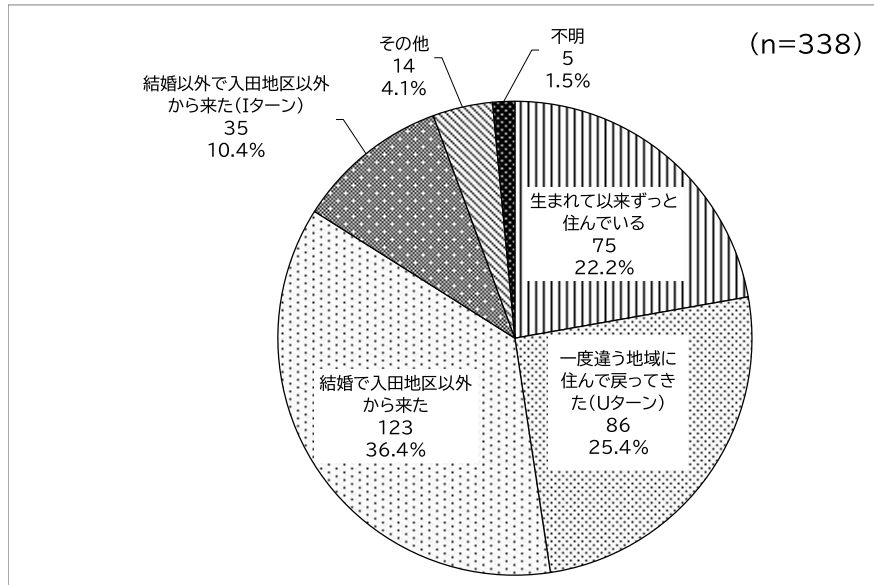
### Q3 年齢



### Q4 同居している家族構成について

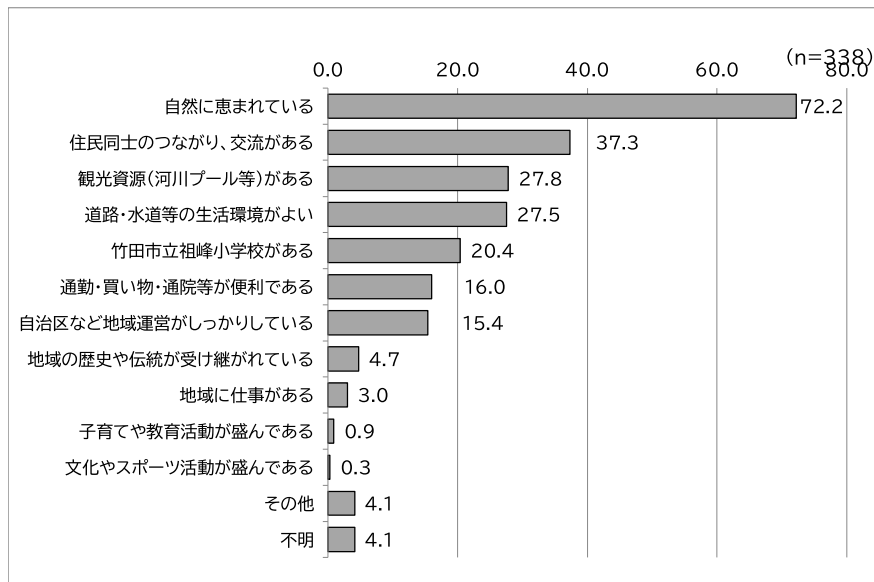


## Q5 入田地区の居住歴

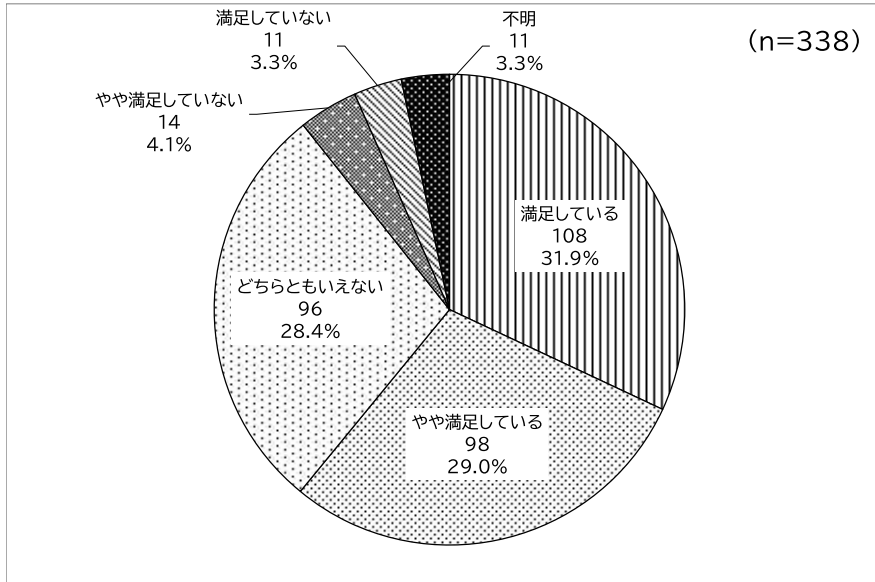


## Q6 入田地区の良いところ、好きなところ

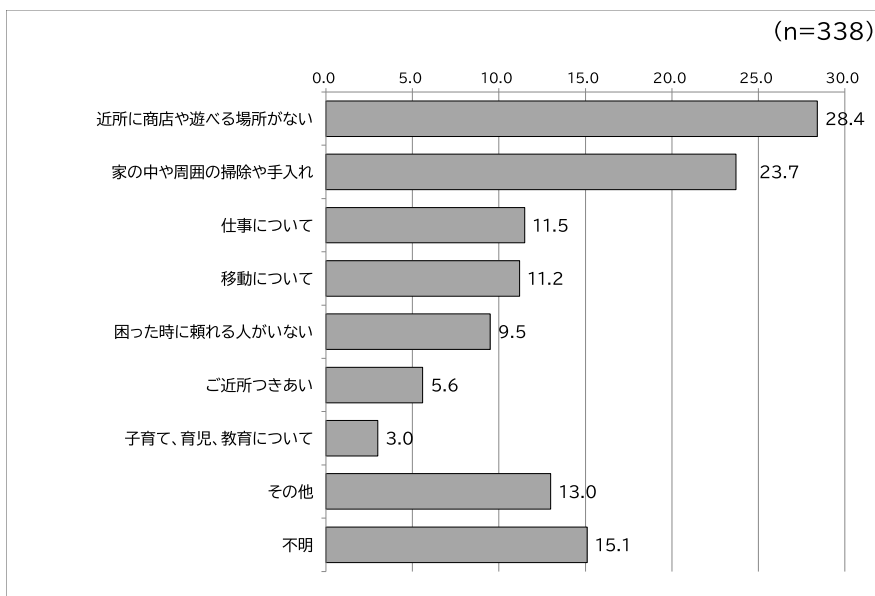
※複数回答



## Q7 入田地区での生活の満足度

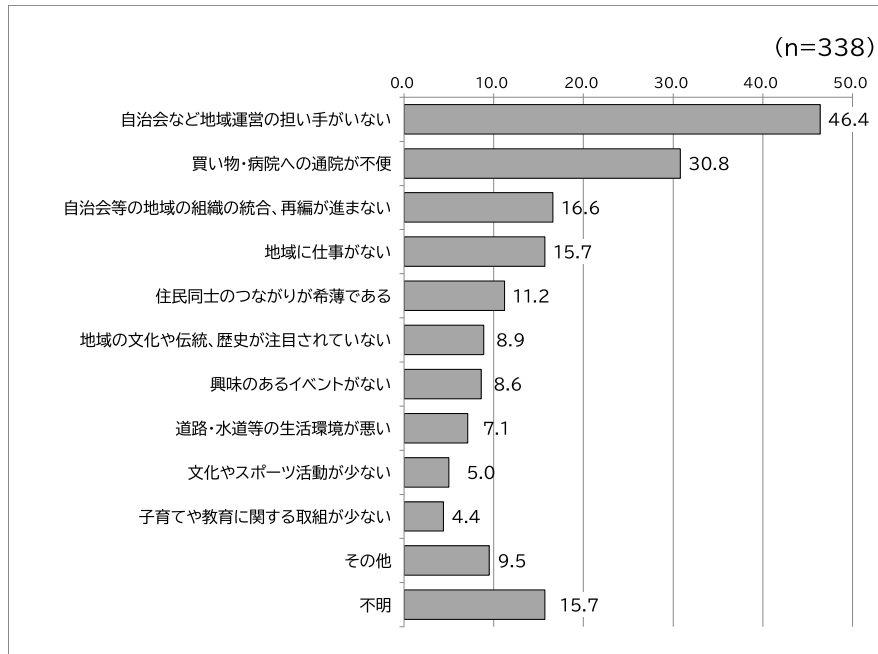


## Q8 暮らしの中で困っている事

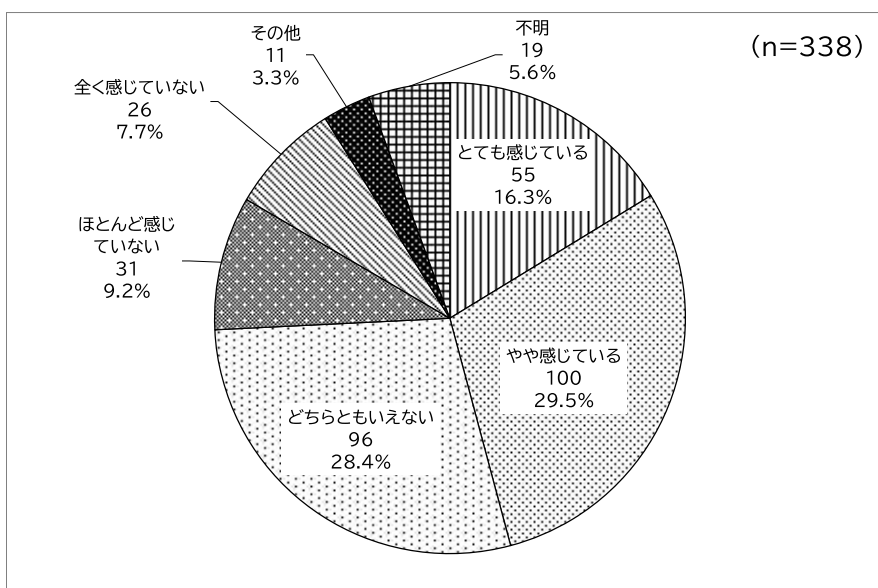


## Q9 入田地区の課題で、特に改善すべき事

※複数回答



## Q10 地域の共同作業や役職に対する負担について



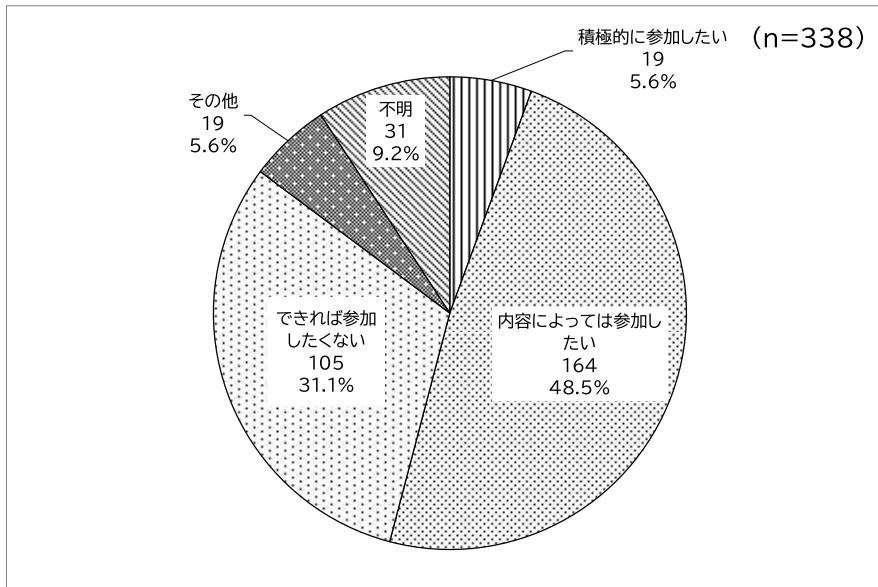
## Q11 負担に感じている/感じた理由

キーワード	どのようなことが負担に感じている・感じたのか
高齢化	高齢者が増えている為、色々な行事や作業が困難になってきている。
	自治会の共同作業、自治会の後継者に高齢化で協力体制が無い。
	高齢化、過疎化で自治会構成員が少なく、地域運営の担い手がいらない。水路の補修等人手が足りない。
	高齢化と共に体力の衰えを感じる。地域の行事に積極的に参加したいが協力できない。
	・特定の数人に常に役がまわって来るため。 ・子や孫などは都市部に住んでいて高齢者の親の世話をするが、地域住民との接点も少なく無関心であり、役職者の負担増の感がある。
役職	高齢化により地域の共同作業に参加する人が不足してくる。役職も今後機能していくのか不安。
	役をしても協力してくれる人が少ない。活動や作業の割合が多すぎる(行事)。
	人が少ないためすぐ役がまわってくる。
	年長的に作業や役職につく人材がいらない。
	少人数の自治会では役がすぐにまわってくる。
仕事・家庭との両立	いろいろな役職があるが出来る人と出来ない人がいると思う。
	仕事や子育てに時間を使いたい。自治会費用の用途が不満。
	家のこと、仕事のことではいっぱいいるため。 ・例年通りの慣例で行事が行われており、目的がわからない。 ・人も減り、時代と共に価値観も変わってきているので、やり方は変えていった方が良い。
共同作業	年齢による体力の低下で共同作業にはついていけない。
	住民が80歳を超えた方がほとんどで共同作業等参加できないことが多い。
	若い人がいなくて共同作業などに出て来る人が少ない。
組織	組織が多く、勤めをしていると参加できない。
	・これから年を取り自治会のお世話ができなくなる事。 ・いろいろな組織があって回覧文章等難しくなっていく事。
草刈り	年齢と共に重労働となってくる(草刈り作業等)。
	田畑、河川などの草刈りが大変になって来た。参加人数が毎年減っている。
体力に対する心配	自分自身が年をとり、なかなか出来なくなっているのが不安である。
	年長的に体力が追いつかない。
	年をとっているため思う様に動けない。
その他	水道事務局、体育委員、活性化協議会、農地水、なぜ1人でこんなにするの？
	農業水路の維持管理で人手不足(若者がいない)。
	参加者が減って負担が増えている。
	地区全体の行事が多すぎる。 昔のようにご近所つきあいがあまりない様になっています。

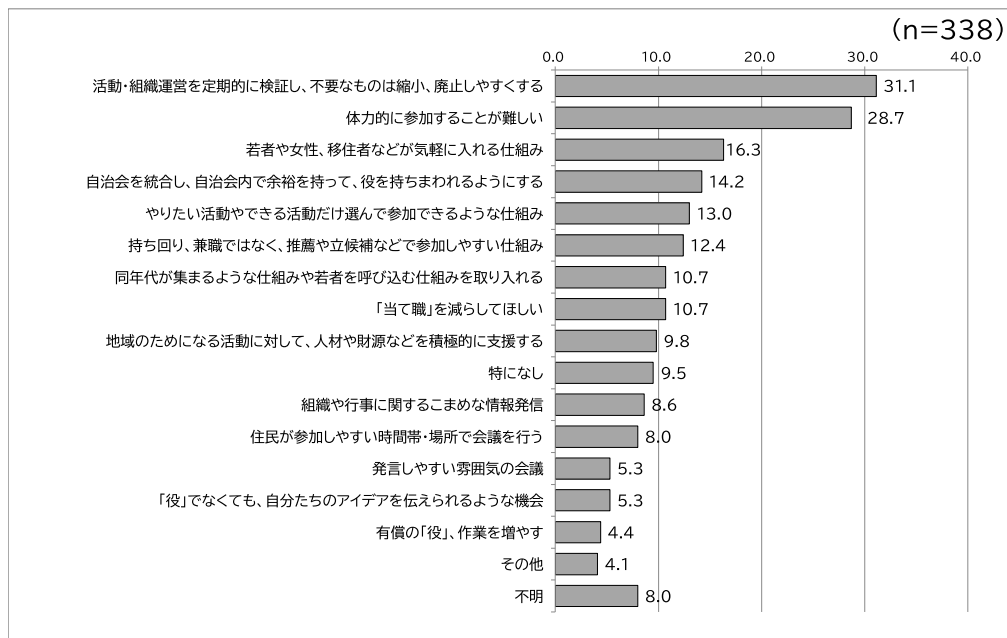
※回答数が多いため、一部抜粋して記載。

## Q12 地域の活動、行事に対する参加の意欲度

---

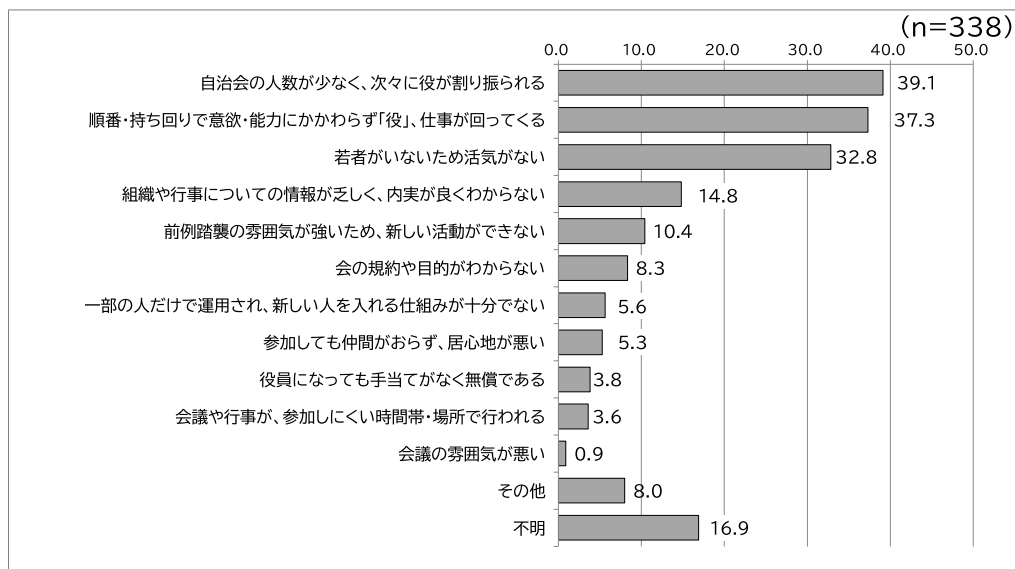


## Q13 地域の活動・行事に参加したくなる仕組みについて

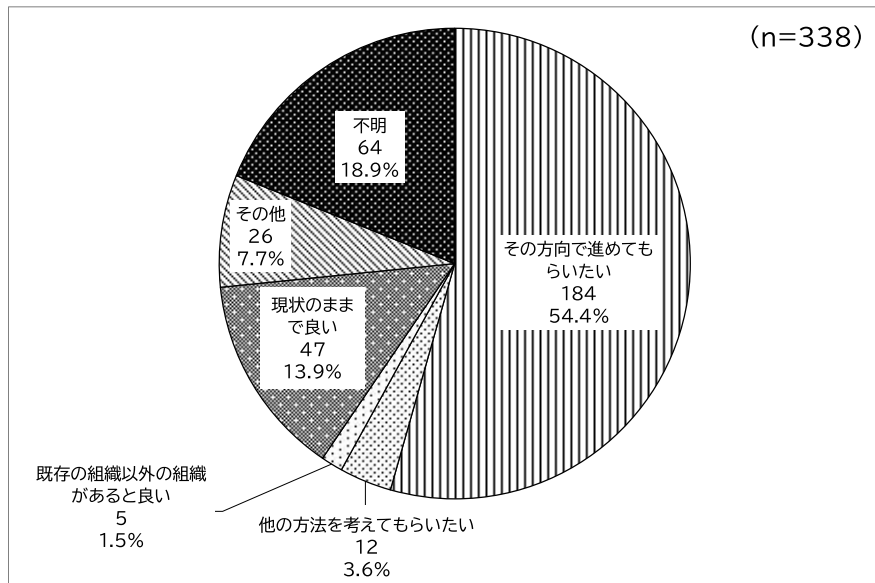


## Q14 組織の運営上の課題について

※複数回答



## Q15 新組織をつくることに対する感想



## Q16 今後、地域において重点的に取り組む必要があると思うものについて

### 【1位】

No.	取り組む必要があるもの 1位	人数(人)	構成比(%)
1	楽しめる祭りやイベント	24	7.1
2	日常生活の支援	14	4.1
3	高齢者等の見守り	40	11.8
4	防災・防犯	56	16.6
5	共同作業	10	3.0
6	農地の維持・管理	52	15.4
7	移動支援	17	5.0
8	健康づくり	12	3.6
9	河川プールの活用	4	1.2
10	情報が共有できる仕組みづくり	14	4.1
11	子育てや教育に関する取組	2	0.6
12	歴史、文化に関する取組	0	0.0
13	空き家対策	18	5.3
14	移住者の受入	15	4.4
15	その他	5	1.5
	不明	55	16.3
	全体	338	100.0

## 【2位】

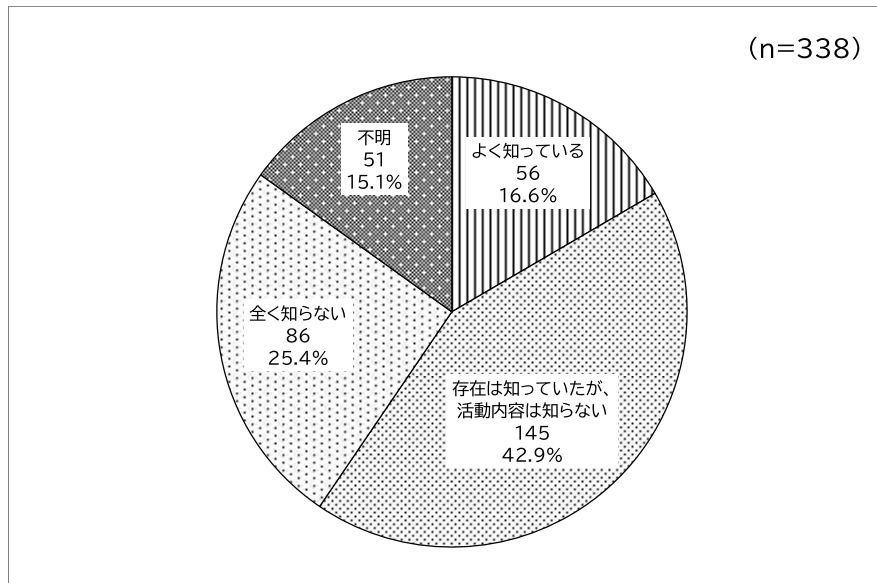
No.	取り組む必要があるもの 2位	人数(人)	構成比(%)
1	楽しめる祭りやイベント	14	4.1
2	日常生活の支援	17	5.0
3	高齢者等の見守り	34	10.1
4	防災・防犯	25	7.4
5	共同作業	25	7.4
6	農地の維持・管理	39	11.5
7	移動支援	17	5.0
8	健康づくり	22	6.5
9	河川プールの活用	10	3.0
10	情報が共有できる仕組みづくり	13	3.8
11	子育てや教育に関する取組	5	1.5
12	歴史、文化に関する取組	0	0.0
13	空き家対策	31	9.2
14	移住者の受入	21	6.2
15	その他	1	0.3
	不明	64	18.9
	全体	338	100.0

## 【3位】

No.	取り組む必要があるもの 3位	人数(人)	構成比(%)
1	楽しめる祭りやイベント	12	3.6
2	日常生活の支援	13	3.8
3	高齢者等の見守り	36	10.7
4	防災・防犯	22	6.5
5	共同作業	14	4.1
6	農地の維持・管理	29	8.6
7	移動支援	19	5.6
8	健康づくり	14	4.1
9	河川プールの活用	12	3.6
10	情報が共有できる仕組みづくり	14	4.1
11	子育てや教育に関する取組	7	2.1
12	歴史、文化に関する取組	2	0.6
13	空き家対策	35	10.4
14	移住者の受入	25	7.4
15	その他	5	1.5
	不明	79	23.4
	全体	338	100.0

## Q17 入田地区地域コミュニティ在り方検討委員会の認知度

---



## Q18 自由記述回答

キーワード	Q18の自由記述回答
組織体制	敬老会について思う事 毎年6月に行われているふれあい交流会を11月の敬老会と一緒にする。そして「入田地区敬老会」としての行事にして、少し内容を充実する様にしたら良いと思います(文化面はそれに付随する形で良いのではないのでしょうか)。
	全ての組織が必要となり発足、運営、活動されて来たと思うが、当時は地区に人があふれていたため成り立っていた。今となっては高齢化が進み、人口減少の中、不要なものは縮小、廃止を考え、その上で元気で暮らしやすい地区の維持が出来ることを願います。
	組織を減らした方が良いと思います(人が少ないので)。
	移住者や入田地区に住んでいる若者を地区活動や自治会に積極的にいろいろな分野で取り入れる。昔から受け継がれている活動や事業は、これからも継続させるべきだと思います。
	①交通安全協会は令和の時代には不要と考える。 ②地区社協と愛育保険推進委員会は1本化にならないか。
	入田地区民球技大会は役員の負担が大きいため縮小すべきだ。
	入田地区自治会の目標・目的をしっかりと定め、それに向かった手段(各委員会)であってほしい。何のためにそれを実行するのか、よく分からないままに参画する必要はないと考えている。目的にそぐわないものについては修正変更し、入田地区に暮らし一人一人が誇りをもてるようにして、次世代へとバトンをつないでいきたいと思う。
行事・交流	・各地域とのつながりをもっとしてほしい(イベント・交流会)。 ・移住とかリターンを促すため入田地域の活動を活性化してほしい。
	地域が元気になる。活性化するための取組として、参加したくなるような、見てみたくなるような魅力ある行事、イベントを企画することで、地域内のコミュニケーションが図れ、個々の絆も深まるきっかけとなるのでは？ 新たな組織内で見直し検討が行われる行事、イベント等においては、上記を踏まえ、定性的あるいは定量的な目標が立てられれば、具体的な企画策定が可能となり、振り返りも容易だと思われる。
	小さい子どもがいる家庭でも楽しく参加できる食事会があると(参加費あり)お互いが顔見知りになれる機会が増えると思います。子どもがいると参加しにくいので。働く世代が気軽に話し合っ、組織運営の一つでも担えると、地域の基盤が少しずつ変わっていくのではないのでしょうか。
	入田地区の球技大会は、高齢者が増えている為、協議内容の見直しが必要！レクリエーション的なものを増やして参加人数の拡大をしてほしい。
	球技大会の参加者年齢を引き下げてほしい(若い人確保の為)。分館、郵便局、学校、商店など重要拠点が集まっているので、それらを活用して若い人や高齢の方をむすぶ「何か」があると地域が強くなりそうな感じがします(何かは分かりませんが・・・)。
	高齢者から子どもまで一緒にするイベント、楽しめる行事があると良いかな(運動会等、スポーツ大会)。
	球技大会は継続してほしいが、メンバー集めが大変なのでケガをしにくい競技や子どももできるような競技で大勢でできるといい。
その他	球技大会など地区の住民が集まるのはあまり減らさない方がよいと思う。
	名水祭、合同文化祭、敬老会等の継続。 1.入田の名水、河川プール関係の行事等 2.入田社協及び福祉関係の継続

※回答数が多いため、一部抜粋して記載。